

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【公開番号】特開 2000-225105 (P2000-225105A)
 【公開日】平成 12 年 8 月 15 日 (2000.8.15)
 【出願番号】特願 平 11-28823
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 5/055
 G 0 1 R 33/3875
 G 0 1 R 33/387

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 4 1
 A 6 1 B 5/05 3 3 2
 G 0 1 N 24/06 5 2 0 K
 G 0 1 N 24/06 5 2 0 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 6 月 14 日 (2004.6.14)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被検体に印可する静磁場を発生する静磁場発生手段と、前記静磁場の強度分布を調整する磁場を発生するシム磁場発生手段と、前記被検体に印可する互いに異なる 3 方向の傾斜磁場を発生する傾斜磁場発生手段と、前記被検体に印可する高周波磁場を発生する高周波磁場発生手段と、前記被検体から発生する磁気共鳴信号を検出する信号検出手段と、該信号検出手段から得られた磁気共鳴信号に基づいて演算を行う演算手段と、前記各手段の動作を制御するシーケンス制御手段と、前記シム磁場発生手段と前記傾斜磁場発生手段の少なくとも一方を制御して前記静磁場の均一度を調整する静磁場均一度調整手段とを含む磁気共鳴イメージング装置において、

前記シーケンス制御手段は、前記傾斜磁場の少なくとも 1 方向の傾斜磁場の勾配極性を周期的に反転させて印加しながら前記磁気共鳴信号を検出させる静磁場調整用シーケンス制御を実行し、

前記演算手段は、前記静磁場調整用シーケンス制御により検出された前記磁気共鳴信号に基づいて磁気共鳴スペクトルを求めて特定の原子核に対応する周波数成分のピークを抽出し、

前記静磁場均一度調整手段は、前記ピークの幅を狭くするように前記静磁場の均一度を調整することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。